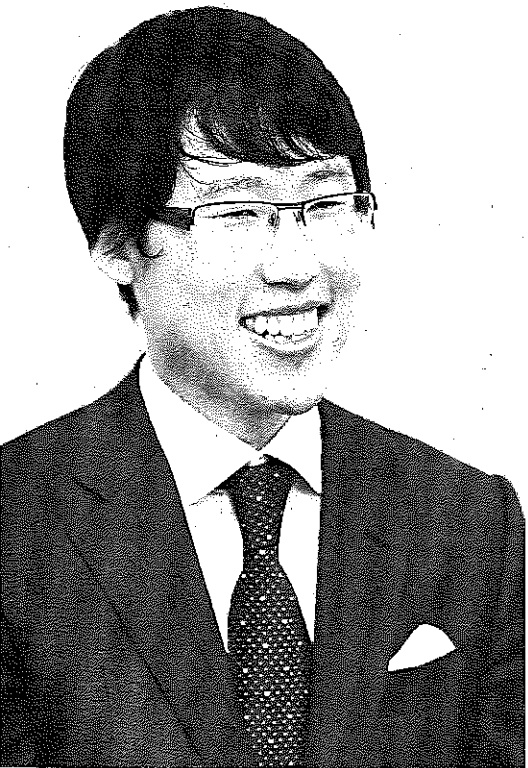


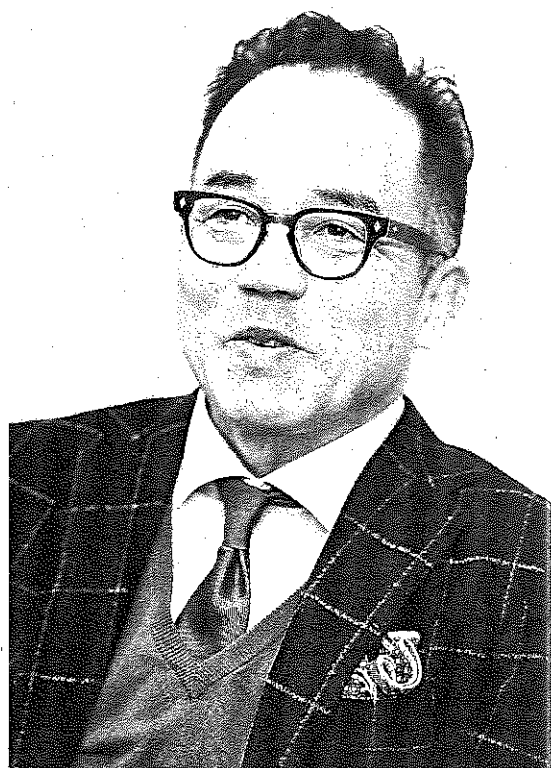
# 目指せ囲碁日本一 きょう開幕

第21回 花まる学習会杯  
ジュニア本因坊戦  
全国大会

中学生以下の囲碁日本一を競う花まる学習会杯第21回ジュニア本因坊戦（毎日新聞社主催、日本棋院・関西棋院後援、花まる学習会特別協賛）の全国大会が24、25の両日、東京都千代田区の毎日新聞東京本社毎日ホールで開かれる。第1回優勝の本因坊文裕（井山裕太九段）と囲碁普及を応援する同会の高濱正伸代表が、好きなことに熱中する大切さなどを語り合った。【最上聡、写真は丸山博撮影】



いやま・ゆうた 1989年生まれ。石井邦生九段門下。2002年入段。05年、阿含・桐山杯で最年少優勝。09年、名人位獲得により九段。12年から本因坊戦を6連覇、本因坊文裕を名乗る。17年10月、2度目の7冠達成。18年2月、国民栄誉賞受賞。二十六世本因坊資格者。



たかはま・まさのぶ 1959年熊本県生まれ。東京大学農学部卒、同大学院農学系研究科修士課程修了。93年に、作文、読書、思考力、野外体験を主軸に据えた学習塾「花まる学習会」を設立。算数オリンピック委員会理事。

## 対談 高濱正伸 井山裕太

花まる学習会代表

本因坊

## 伸びる良い機会

高濱 井山さんという人物が、どう作られたのか尋ねてみたいのですが、囲碁を始めたいきっかけは、

文裕 5歳のころ父が買ってきたテレビゲームです。やらされたのではなく、遊んでいるうちに興味を持った感じです。

高濱 重要なポイントですね。

文裕 その後は（アマ高段の）祖父と遊んでもらったり、暮会所に連れて行ってもらったり。視聴者参加の囲碁のテレビ番組に母が応募して、そこで解説をしていたのが師匠の石井邦生先生です。

高濱 見いだされたわけですね。子どもは夢中になると伸びるのが早い。私も塾でやり方を教えていたら、半年で抜かれたということがあります。井山さんは家でほとんどんことをしていましたか。

文裕 NHK杯などの対局を録音して、見返すことが楽しかったようです。もちろん囲碁だけでなく外で

遊んだり、他のゲームで遊んだりしていました。

高濱 楽しかったから一頭が良くなるからやりなさい一は絶対無理です。

家で「勉強しなさい」などとは言われませんでしたか。

文裕 これをやりなさい、あれをやりなさいと言う両親ではありませんでした。私は小学6年でプロ入りを決め、高校進学していませんが自分で決めたことには応援するというスタンスでした。

高濱 プロ入りするとき、やっていける感覚はありましたか。

文裕 不安はプロ入りしてからの方がありました。

高濱 乗り越えていったわけですね。

文裕 心技体とはよく言ったものだと。19歳で初めて名人戦で張栩九段に挑んだとき、相手からは自信を感じ、自分の手を信じ切れませんでした。翌年リベ

## 力を出し楽し

ンシの機会を得て、1年間

利用すれば良いものではない。情報通信の革命、ネット環境やAIがあれば、世界中どこでも強くなれる、という事です。

文裕 私がプロを目指していたことは、まだ「東京に行かなければ」という風潮がありました。実力差はなくなってきたかと思えます。これから囲碁を始める子も、AIとだけ戦って強くなってプロになる人も出てくるかもしれません。その感覚と、私の感覚にはずれがあるかもしれませんが、それはそれで楽しみます。

高濱 「のめり込む」ということは何にでも通じます。せっかく好きになれたものを頑張ってほしい。強い人と対局するのを、伸びる良い機会にしてみたいです。

文裕 私は、囲碁を続けてもらいたいという気持ちが一番です。出場者は普段やってきたことを存分に出し、楽しんでほしいと思います。

文裕 アルファ碁の研究は水面下でしか知られていなくて、いきなり世界トップ級に勝ってしまった衝撃は大変なものでした。今、アルファ碁が打った手の意味を人間が理解しようとして、必死に研究しています。

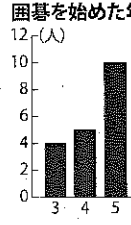
算数・数学が好き 出場者調査

毎日新聞社と花まる学習会は、過去にジュニア本因坊戦の全国大会に出場した小中高校生を対象に、囲碁と教育に関するアンケートを実施した。得意な教科を尋ねたところ(複数回答)、70%が「算数・数学」を挙げるなど、大半の児童・生徒が理科系に強いと感じていた。囲碁を始めた年齢は「6歳」が26%で最多だった。

アンケートは昨年7月8日、第17回〜20回の全国大会に出場した児童・生徒のうち、連絡先が分かる131人に郵送して実施。「死ななし」で戻ってきた21人を除く110人中47人(小学6年〜高校3年)から回答を得た。回答率43%だった。

好きな教科は、「算数・数学」が70%と飛び抜けて多く、以下「理科」34%▽「体育」31%▽「社会」28%など。整理すると「算数・数学」か「理科」、もしくはその両方が得意と答えた人が77%に上った。

アンケートでは、保護者に「子育てで大切にしていること」も答えてもらった。「子供の可能性を制限しない」「好きなことをとことんやらせる」などの回答が寄せられた。



囲碁を始めた年齢は?

ネット中生中継 本大会は、パナソニックの協力で対局の一部がインターネット中継される。インターネット囲碁対局「毎日囲碁道場」(http://mainichi.jp/igo/)から観戦できます。

主催 毎日新聞社 後援 日本棋院、関西棋院 特別協賛 花まる学習会

- 優勝者◇ 井山裕太(大阪・東大阪市立孔舎衛東小3年) 黒沢範行(兵庫・川西市立明峰小6年) 田沢和也(北海道・江別市立野幌中2年) 三根康弘(福岡・北九州市立鯉西中2年) 日野大地(大分・岩田中1年) 玉井伸(東京・中野区立第三中1年) 安達利昌(東京・荒川区立諏訪台中1年) 金沢真(神奈川・平塚市立なでしこ小6年) 山下寛(静岡・三島市立中郷西中3年) 癸生川聡(栃木・栃木市立南小6年) 玉井一輝(岐阜・大垣市立南中2年) 玉井一輝(岐阜・大垣市立南中3年) 石原康祐(神奈川・横浜市立日吉台中3年) 東日本大震災のため中止 浜崎公輔(兵庫・宝塚市立宝塚中3年) 水精次元(兵庫・三木市立三木東中2年) 金遼(静岡・静岡市立安東中3年) 寺下龍太郎(福岡・筑陽学園中3年) 青木裕孝(東京・都立白鷗高村属中3年) 福岡航太(東京・杉並区立高井戸第二小5年) (学年は優勝時、敬称略) ※第8回までは前身の全日本こども囲碁大会優勝者